



**(一社)日本調理科学会 近畿支部**

**第46回研究発表会**

**研究発表要旨集**

(誌上開催)

開催日： 令和2年12月12日(土)

**(一社)日本調理科学会 近畿支部**

# 「和食だし体験講座」受講後の意識・行動変容に及ぼす諸要因の検討

○濱口郁枝<sup>1</sup>, 大石ひとみ<sup>2</sup>, 玉置卓志<sup>2</sup>  
 ( <sup>1</sup> 甲南女子大, <sup>2</sup> 大阪ガス(株) )

【目的】大阪ガス(株)では、和食の基本となるだしを使った料理の伝承を目的とした「和食だし体験講座」プログラムを2017年に開始した。そこで、講座を受講した小学生(以下、子ども)と保護者を対象に質問紙調査を行い、意識・行動変容の検証を行うことを目的とした。

【方法】「和食だし体験講座」は、2019年2月~2020年1月に、近畿2府4県の小学5・6年生(68校、4590名)に対して家庭科の出張授業として実施。受講後に子どもと保護者を対象に、和食だしに対する受講後の意識・行動について質問紙調査(4件法)を実施した。子ども、保護者ともに回答に漏れのない各3493名(76.1%)を有効回答として分析に用いた。

【結果】子どもに対する質問では、「和食だし体験講座」の授業は楽しかった”に対して、「そう思う」、「どちらかというと思う」は3421人(97.9%)であった。授業後の意識に関する回答結果について因子分析を行ったところ、2因子構造が確認された(表1)。和食の理解に関する回答結果は1因子構造であった(表2)。保護者に関する質問では、「授業後に「和食だし」の話を聞いた”に対して、「あてはまる」、「どちらかというあてはまる」は3128人(89.6%)であった。講座受講後の意識・行動に関する回答結果について因子分析を行ったところ、2因子構造が確認された(表3)。

次に、保護者の「和食だし体験講座後の変化」、「家庭の料理づくり」を従属変数とし、子どもの意識や行動との因果関係についてパス解析を用いて検討した(図1)。その結果、子どもが「授業が楽しかった」と感じたことが、料理に対する自己効力感を高め、和食やだしの理解を促進し、体験講座後の家庭での変化、家庭の料理作りへと関連することが示唆された。

表1. 子ども:授業後の意識

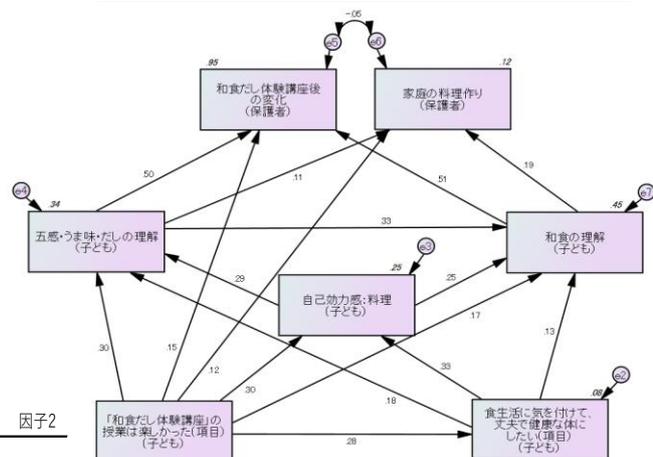
重みなし最小二乗法,プロマックス回転(n=3493)	因子1	因子2
「五感・うま味・だしの理解」7項目, Cronbachの $\alpha=0.852$		
「こんぶ」のお話しはよくわかった	0.788	-0.033
「かつおぶし」のお話しはよくわかった	0.772	-0.015
味の「五味」についてよくわかった	0.699	-0.026
五感で感じる「おいしさ」についてよくわかった	0.655	0.002
日本人が発見した「うまみ」についてよくわかった	0.650	0.016
今日の授業で学んだ内容はよく理解できた	0.559	0.060
合わせだしの取り方はよくわかった	0.548	0.081
「自己効力感:料理」5項目, Cronbachの $\alpha=0.847$		
家族といっしょに料理を作ったり、お手伝いをしたいと思う	-0.025	0.778
家族のために料理を作ってあげることができると思う	-0.030	0.751
料理をすることで、自分にできることを増やしたいと思う	0.052	0.730
自分で料理を作ると、料理をすることが楽しくなると思う	0.014	0.724
自分で料理を作ると、料理はおいしくなると思う	0.041	0.635

表2. 子ども:和食の理解

重みなし最小二乗法(n=3493)	因子1
「和食の理解」3項目, Cronbachの $\alpha=0.607$	
「和食」がなぜ良いといわれているのか、家族に教えてあげたい	0.750
これからもっと「和食」を食べたいと思った	0.525
「和食」がなぜ良いといわれているのか、よくわかった	0.500

表3. 保護者:講座受講後の意識・行動

重みなし最小二乗法,プロマックス回転(n=3493)	因子1	因子2
「和食だし体験講座後の変化」8項目, Cronbachの $\alpha=0.859$		
これからもっと「和食」を食べたいと思った	0.748	-0.063
お子さまといっしょに料理を作ってみてみたいと思った	0.716	0.079
お子さまといっしょに健康によい食生活を心がけたいと思った	0.708	-0.066
お子さまができるお手伝い(準備・片付け)の機会を増やしたいと思った	0.692	-0.011
お子さまは、授業に学びや気づきを感じたと思う	0.686	-0.008
「和食」がなぜ良いといわれているのか、よくわかった	0.664	-0.003
お子さまから「家でやってみたい」との意思表示があった	0.572	0.134
お子さまから「和食だし」のお話を聞いた	0.554	0.007
「家庭の料理づくり」2項目, Cronbachの $\alpha=0.767$		
お子さまは、料理のお手伝いをよくしてくれる	-0.033	0.913
家族で、よくお料理づくりをする	0.030	0.680



パス解析標準化解 (n=3493)  
 $\chi^2(4)=6.92, p=0.14$   
 GFI=0.999, AGFI=0.996,  
 CFI=1.000, RMSEA=0.014  
 パス係数は全て有意 (p<0.001)

図1. 講座受講後の意識・行動変容に及ぼす要因